

## 子宮破裂症例が母児予後に与える影響の検討

### (1) 研究の意義・目的について

子宮破裂は産科領域での産科危機的出血の原因上位を占め、母体だけでなくその児にも大きな悪影響を与えると考えられております。当センターでは帝王切開後経膈分娩、子宮手術後経膈分娩を行っており、子宮破裂のリスクのある症例も取り扱っております。今後もそういった分娩を安全に行っていくことができる様に子宮破裂症例データの収集・分析を行うことを目的としました。

### (2) 研究の方法について

診療録の記載からデータを収集しました。

### (3) 予測される結果(利益・不利益)について

診療の記録を後から分析しますので、診療の時点での利益・不利益はありません。

### (4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人情報を直接同定できるような情報は使用されません。また、研究の発表時にも個人情報は使用されません。

### (5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表および学術論文として公表される予定です。

### (6) 問い合わせ等の連絡先

日本赤十字社医療センター 産婦人科 宮武 里沙

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-1-22 電話：03-3400-1311